

# Nutanix Cloud Clusters (NC2)

業界初となるクラウド非依存の統合運用プラットフォームによって、ハイブリッドクラウド環境全体を包括的に可視化することができます。Nutanix Cloud Clusters (NC2) は、お客様のハイブリッドクラウドへの取り組みを加速し、アプリケーションの容易な移行を可能にすると共に、継続的なワークロード・管理コストの最適化、リスクの低減を実現します。



- ✓ マネージメント
- ✓ アプリのモビリティ
- ✓ セキュリティ
- ✓ コストコントロール
- ✓ クラウドネイティブな連携
- ✓ ワークロードの最適化

## エンタープライズのクラウドにおける課題

- 互換性のないプラットフォームを提供する複数のプロバイダーのクラウドサービスであっても、企業がそれらを必要とする状況が数多くあります。
- クラウドを個別に管理するためには、様々なスキルやツールセットが必要となり、これは複雑で手間とコストがかかる対応です。
- IT 環境を最適化するためには、ワークロードの配置を定期的に見直す必要がありますが、複数のクラウドが混在する環境でリソースの使用状況やコストを完全に把握することは、決して容易ではありません。
- 様々なクラウドプラットフォームへの対応に向け、アプリケーションをリファクタリングしたりアーキテクチャーを見直すことは、多くの時間やコストを要し、クラウドへの取り組みをリスクに晒すことへ繋がります。
- 互換性やスキルセットの問題を回避するために1社のクラウドプロバイダーに固執すると、ベンダーロックインの問題が発生し、機敏性、購買力、そして成功を阻害する要因にもなりかねません。

## 主な特長

- **統合された可視性とコントロール**  
単一の統合管理コントロール画面を使って、異なるクラウド環境に存在するデータやアプリケーションの確認、管理、移動、セキュリティの確保を行うことができます。
- **アプリケーションのモビリティ**  
変更、リスク、ソフトウェアの再ライセンスを伴うことなく、迅速にアプリケーションをパブリッククラウドへ移行することができます。
- **クラウドネイティブな連携**  
AWS や Microsoft Azure のクラウドネイティブなサービスや機能に直接アクセスすることができます。
- **すぐに効果を発揮**  
クラウドやデジタルトランスフォーメーションに対する取り組みを加速することで、素早く業務成果が得られるようになります。
- **ビルトインされた専門知識**  
ハイブリッドマルチクラウドに移行しても、ツールの入れ替えやスキルの再習得は発生しません。
- **IT リソースの柔軟な活用**  
予測できない利用の急増、または時節的な利用の急増によりキャパシティの追加が必要になった場合には、すぐにパブリッククラウドのリソースを活用することができます。

## マルチクラウドの導入

企業にはハイブリッドクラウドの IT インフラストラクチャーを採用すべきであるという、説得力ある理由が数多く存在します。しかし、データセンター、プライベートクラウドやパブリッククラウドでは、それぞれ異なるアーキテクチャーやプラットフォーム、そしてツールが使用されています。このため、アプリケーションを新しい環境に移して管理するには、多くの時間とコストが必要となります。

### …複雑さやリスクなしに

Nutanix Cloud Clusters が必要となる理由はそこにあります。NC2 では、プライベートクラウドやパブリッククラウドの区別なく、同じ方法で管理や変更、さらにセキュリティを確保することができます。そして全てが、1つの統合コンソールやスキルセットで利用可能なのです。

### …Nutanix をあらゆるクラウド環境へ拡張

NC2 では、Nutanix ハイパーコンバージドインフラストラクチャー (HCI) ソフトウェアスタックが持つシンプルさを、AWS、Microsoft Azure などのパブリッククラウド環境へ拡張します。既に Nutanix をオンプレミスでご利用の場合には、購入済みのソフトウェアライセンスをそのまま使って、パブリッククラウドの管理にも活用することができます。



#### シンプルな運用

プライベートおよびパブリック  
クラウド全体を網羅できる  
単一の管理画面



#### シームレスなアプリモビリティ

1-クリックでの移行が可能な  
アプリおよびライセンスの  
ポータビリティ



#### 優れた費用対効果

最適化、管理、セキュリティ  
確保に向けた1つの  
システム環境

## NC2 の導入効果

### マルチクラウドの可視化と運用

統合されたマルチクラウド管理によって、オンプレミスからパブリッククラウドに至るまで、クラウドインスタンス全体のワークロードを可視化することができます。各インフラストラクチャーの現在の使用状況やセキュリティの設定状況、過去の履歴などを把握し、全てのワークな状態やコンプライアンスを維持できるよう変更を加えることが可能です。

### アプリケーションの全面的な移行

NC2 では、ツールの見直しや再トレーニングの必要なしに、どんなアプリケーションでもパブリッククラウドへ移行し運用することができます。クリックするだけで選択した NC2 が稼動するパブリッククラウドへ VM を移行することができます。

### オンデマンドでの迅速な IT リソース提供

NC2 では、オンプレミスやパブリッククラウドのアプリケーションを、1つの統合クラウドインフラストラクチャー上にまとめることができます。これにより、使用量が急激に増加した場合には、即座にパブリッククラウドの IT リソースをプロビジョニングし、またシステム障害が発生した場合には、パブリッククラウドのバックアップリソースへフェールオーバーすることが可能となります。

### クラウドネイティブな連携とアプリ開発

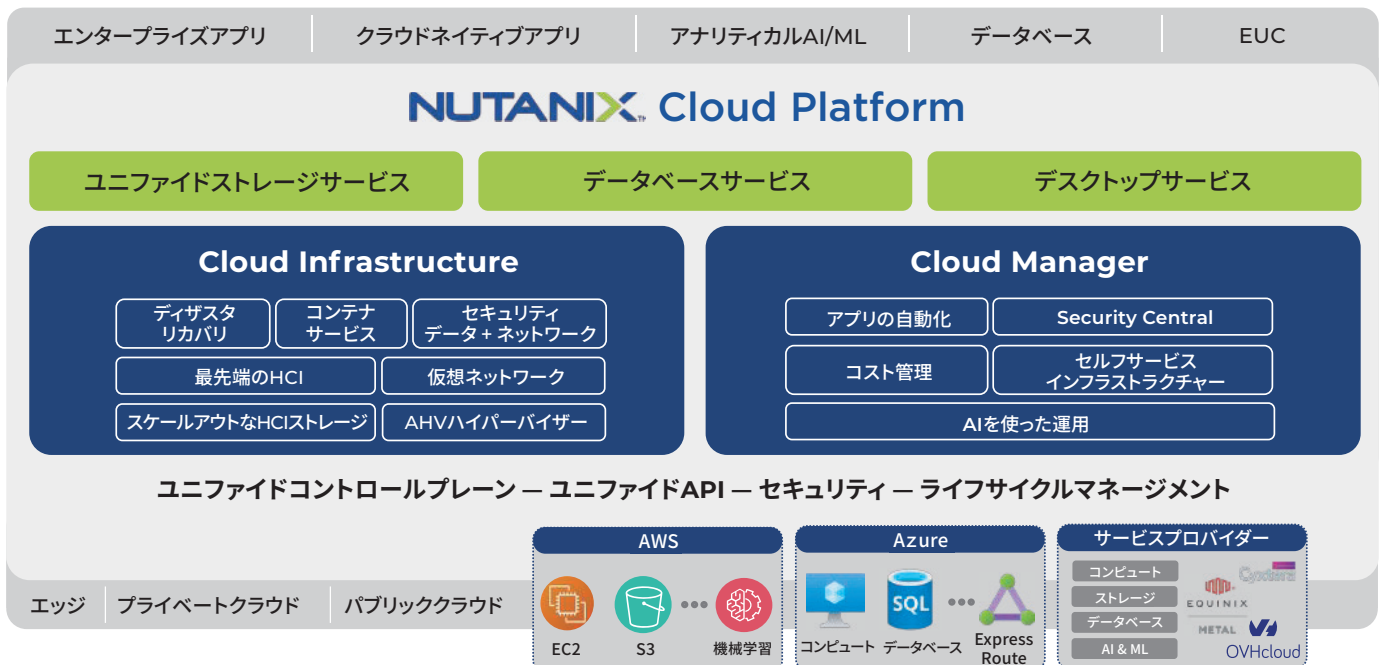
NC2 では、パブリッククラウドとネイティブに連携することで、これらのオペレーターのパブリッククラウドネイティブなツールやサービスに直接アクセスすることができます。さらに、NC2 の Kubernetes エンジンによって、最前線のクラウドネイティブなアプリケーションを、開発者が望む環境で容易に構築、管理、ホストすることができます。

## NC2 の動作の仕組み

NC2 は Nutanix Cloud Platform の拡張機能です。オンプレミスで使用される Nutanix HCI ソフトウェアのコアを、ハイパースケールなパブリッククラウド環境上に複製することで、プライベートとパブリックいずれのクラウド環境でも同様に、仮想化やソフトウェア・定義の優位性を提供することができます。

これにより、Nutanix Cloud Platform のユーザーは、ツールの入れ替えやコードの変更、そして新しいスキルを習得する必要なく、VM カプセル化したアプリケーションをパブリッククラウドへ移行することができます。これはプライベートクラウドとパブリッククラウドのそれぞれの特長を活かしながら、各アプリケーションを最適な形で処理するための、最も簡単な方法と言えます。

NC2 は、主要なパブリッククラウドのハイパースケールサービスとネイティブに連携します。抽象化レイヤによって、IT 運用担当者はプラットフォームの差異や複雑さを意識する必要がなくなります。この抽象化レイヤでは、Nutanix のパブリッククラウドとプライベートクラウドを1つの統合されたクラウドとして管理できると共に、アプリケーションの実際の稼働場所については、IT 管理者側からコントロールすることができます。



## お客様向け適格性チェックリスト

皆様が Nutanix のお客様であり、以下のいずれかが当てはまる場合、NC2 のメリットを享受できる可能性があります。

NC2 の詳細はこちらから

<https://www.nutanix.com/jp/products/nutanix-cloud-clusters>

お客様向け適格性チェックリスト	
3層型のアーキテクチャーへの依存度を下げようとしている。またはクラウドベースのインフラストラクチャーを優先し、データセンターを縮小しようとしている。	✓
アプリケーションを最小限のリスクですぐにクラウド環境へ移行したいと考えている。	✓
クラウドを採用し、それぞれのサービスの強みを活かす必要があるが、地理的に分散したクラウドを管理するための技術的なスキルセットや予算が不足している。	✓
ベンダーロックインを回避する必要がある。	✓
複数のクラウドを管理するためのスキルと予算はあるが、包括的な可視化、コストの最適化、一貫性ある管理やセキュリティ、コンプライアンス対応などを実現できる統合的で一体化したクラウドプラットフォームを望んでいる。	✓
クラウドネイティブなアプリケーションの素早い構築を実現し、様々なプログラミング環境を好む開発者にも便宜を図りたいと考えている。	✓
AI を使った機械学習や分析など、様々なパブリッククラウドプロバイダーが提供する高度な機能をアプリで使えるようにしたい。	✓
予測できない一時的な利用の急増や時節的なリソースの要求に対して、高価な専用のインフラストラクチャーをオーバープロビジョニングするのではなく、パブリッククラウドの IT リソースを動的に使用することで費用対効果を向上したいと考えている。	✓
複数のクラウドインフラストラクチャーを横断する形でバックアップのための IT リソースを多様化し、システム障害に対する耐性を強化して可用性を高めることで、ダウンタイムを最小限に抑えたいと考えている。	✓

**NUTANIX**

[info-jp@nutanix.com](mailto:info-jp@nutanix.com) | [www.nutanix.com/jp](http://www.nutanix.com/jp) | [@nutanixjapan](https://twitter.com/nutanixjapan)

©2023 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix、Nutanixのロゴ、その他の製品およびサービス名は、Nutanix, Inc.の米国その他国における登録商標または商標です。本書に記載したその他のブランド名は、識別目的に限定して使用するもので、それぞれは一般に各社の商標です。

sb-nutanix-cloud-clusters-jp 09/01/2023